



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年2月5日

上場会社名 株式会社 テスク

上場取引所 名

コード番号 4349 URL <http://www.kktisc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅田 源

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 岡本 匡弘

TEL 052-651-2131

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	956	20.3	60	149.3	67	111.7	56	66.8
29年3月期第3四半期	795	13.0	24	32.2	31	32.8	33	12.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	16.70	
29年3月期第3四半期	9.74	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	1,240	889	71.7
29年3月期	1,192	829	69.6

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 889百万円 29年3月期 829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		6.00	6.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,250	6.2	75	14.9	80	9.9	50	12.9	14.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	3,500,000 株	29年3月期	3,500,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	112,858 株	29年3月期	112,858 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	3,387,142 株	29年3月期3Q	3,482,142 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策や日銀による金融政策を背景に企業業績は好調に推移し、雇用・所得環境の改善による下支え等もあり、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社の主要顧客である流通業界におきましては、人手不足による人件費高騰により、業務の効率化を進めるための店舗・設備投資とともにIT投資意欲は比較的堅調に推移いたしました。また、当情報サービス業界におきましては、企業のIT投資が堅調に推移いたしましたが、エンジニア不足による人材の確保が課題となっております。

このような状況下、当社におきましては、社員教育投資、当社オリジナルパッケージ・ソフトウェアである小売業向けのCHAINSⅢ+及び卸売業・メーカー向けのGROWBSⅢへの研究開発投資の効果もあらわれ、受注は好調に推移いたしました。この先の見込み案件も多く、今後も好調に受注を確保していける見通しですが、顧客の業務を深く理解したうえで高付加価値なソフトウェアを提供しなければならない事業特性上、プロジェクトマネジメントを行うことのできる専門性の高い社員数を急に増やすことはできず、限られた要員数で事業を行っているため、売上高の伸びは限定的となりました。

今後とも当社は、「量販型の流通業のお客様に特化した総合ITベンダー」として、地に足を付けて以下の施策に取り組むことで、社会から必要とされる会社としてあり続ける努力を継続してまいります。

- ① 当社オリジナルのパッケージ・ソフトウェアへの研究開発投資による機能強化とサービス提供範囲を拡大するとともに、新しいサービスを創出します。
- ② 魅力ある製品、サービスを提供するため、社員教育に経営資源を投下してテクニカルスキル及びビジネススキルの向上を図ります。そして、「量販型の流通業のお客様に対するITサービスを提供するプロフェッショナル集団」を目指します。
- ③ 顧客満足度を高めるため、システム開発プロセスの標準化を推進したうえで、PMO(Project Management Office)を活用したより効率的なプロジェクトマネジメントの仕組みを構築し、リーズナブルで高品質な製品を提供してまいります。

当第3四半期累計期間においても上記の施策を実施することにより、各プロジェクトの効率的な運営を行うことができました。また、大型のプロジェクトにおいてまとまった規模のパッケージも販売いたしました。

このような結果、当事業年度の売上高は9億56百万円(前年同期比120.3%)となりました。利益面では、プロジェクトマネジメントの改善による各プロジェクトの利益率が改善され、かつ大規模なパッケージの計上もあり営業利益は60百万円(前年同期比249.3%)、経常利益は67百万円(前年同期比211.7%)となりました。また、投資有価証券の売却により四半期純利益は56百万円(前年同期比166.8%)となりました。

今後とも、更なるパッケージ・ソフトウェアの強化と個別のお客様へのシステム導入並びにサポートを着実に実行し、新規のお客様のシステム再構築へのタイミングを捉えた提案を加速してまいります。

(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月6日の決算短信で発表しました、通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	244,410	267,233
受取手形及び売掛金	287,343	271,075
商品及び製品	344	10,729
仕掛品	15,050	30,269
その他	86,047	63,141
貸倒引当金	—	△147
流動資産合計	633,197	642,301
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	67,441	62,987
土地	116,436	116,436
その他(純額)	68,264	56,190
有形固定資産合計	252,142	235,613
無形固定資産	51,597	81,571
投資その他の資産		
投資有価証券	240,492	258,922
その他	15,100	22,567
貸倒引当金	△173	△435
投資その他の資産合計	255,419	281,054
固定資産合計	559,159	598,239
資産合計	1,192,356	1,240,541
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,757	82,781
1年内返済予定の長期借入金	6,464	—
未払法人税等	24,558	4,265
賞与引当金	50,240	27,556
その他	156,186	180,230
流動負債合計	301,205	294,832
固定負債		
リース債務	45,687	31,964
その他	15,506	23,782
固定負債合計	61,194	55,746
負債合計	362,400	350,579

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	302,000	302,000
資本剰余金	106,146	106,146
利益剰余金	406,830	443,080
自己株式	△23,785	△23,785
株主資本合計	791,191	827,441
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38,765	62,521
評価・換算差額等合計	38,765	62,521
純資産合計	829,956	889,962
負債純資産合計	1,192,356	1,240,541

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	795,213	956,594
売上原価	525,580	617,512
売上総利益	269,633	339,081
販売費及び一般管理費	245,558	279,051
営業利益	24,075	60,029
営業外収益		
受取利息	12	9
受取配当金	6,520	6,275
その他	1,721	1,363
営業外収益合計	8,254	7,648
営業外費用		
支払利息	232	226
その他	380	294
営業外費用合計	613	521
経常利益	31,716	67,157
特別利益		
投資有価証券売却益	22,286	13,300
特別利益合計	22,286	13,300
特別損失		
投資有価証券売却損	44	—
特別損失合計	44	—
税引前四半期純利益	53,959	80,457
法人税、住民税及び事業税	3,107	14,197
法人税等調整額	16,927	9,687
法人税等合計	20,035	23,884
四半期純利益	33,924	56,572

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。